

平成23年度事業報告

公益社団法人移行

平成23年4月1日(金) 公益社団法人「小さな親切」運動本部設立

平成23年度の運動方針

目 標 「青少年の豊かな心づくり」

重点推進事業 未組織県の組織化

会員数・地方組織概況

1) 会員数(実数) / 平成24年3月31日現在
1,743団体 258,052名

<昨年度との比較>

	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
会員数(実数)	258,052名	155,515名
正会員	155名	181名
法人会員	68社	72社
個人会員	10,124名	10,490名
団体会員	134,372名	138,468名
学校会員	204校 113,333名	197校 6,304名

2) 地方組織概況 33道府県本部・154市町村支部
7月20日 広島県呉支部発足

【公益目的事業 1】

1. 「小さな親切」実行章贈呈事業

○実行章贈呈者数 / 平成24年3月25日発表累計 5,433,024名
(平成23年3月25日発表 累計5,232,876名)

○「小さな親切」八か条シールを作製し、受章者に副賞として贈呈
作製数 30,000枚

○増加した実行章推薦事由

- ・東日本大震災への支援活動
- ・環境問題への意識の高まりによる地元の史跡等の清掃活動

○全国各地の「小さな親切」実行章贈呈式・伝達式 180回
都内ミニ伝達式 2回

2月29日(水) 立川観光自動車(株)

3月27日(火) 小諸そば 飯田橋店

2. 第36回「小さな親切」作文コンクール

主催	公益社団法人「小さな親切」運動本部		
後援	内閣府 文部科学省 NHK 毎日新聞社		
協賛	カシオ計算機(株) (株)三省堂		
特別協賛	(株)ケイ・エフ・ジー ヤスマ(株)		
テーマ	「小さな親切」 -私のした・うけた・みた・できなかった親切-		
応募資格	小学生・中学生 (小・中学生と同じ年齢のものを含む)		
応募総数	55,945 編 (内訳：小学生 15,742 編・中学生 40,203 編 前年度実績/53,339 編)		
入賞者	130 名		
	内閣総理大臣賞	1 名	
	文部科学大臣賞	1 名	
	「小さな親切」運動本部賞	2 名	
	特別優秀賞	6 名	
	優秀賞	20 名 (小・中学生各10名)	
	入選	100 名 (小・中学生各50名)	
副賞	◇メダル		
	◇辞典[提供：(株)三省堂] 電波時計[提供：カシオ計算機(株)]		
	レトルトカレー詰合せ[提供：ヤスマ(株)]		
	ミネラルウォーター[提供：(株)ケイ・エフ・ジー]		
要項・入賞発表	要項発表/毎日新聞 (5月26日)・教育新聞 (6月20日) 入賞発表/毎日新聞 (11月22日)・教育新聞 (12月8日)		
締め切り	9月20日(火) 必着		
審査会	第1次審査	9月26日～10月6日	小学校長OBら8名
	第2次審査	10月15日(土)	現役小学校長ら8名
	審査会	11月1日(火)	作文審査員5名
表彰式	11月26日(土) 全国表彰式に66名出席		
作製物	◇ポスター 6,000部 応募要項 8,700部		
	◇作品集『65のありがとう』(作文・はがき併号)		
	作製数	5,000部	配布先 約1,000ヶ所

3. 「小さな親切」運動実践協力校

実践協力校数	133 校 (内訳：小学校 89 校 中学校 43 校 高等学校 1 校)		
指定期間	2 年		
活動費の交付	1 校	10,000 円 (7 月交付)	※紙芝居活動費 5,000 円廃止
活動内容	○必須事業 ・「小さな親切」作文コンクール (小・中学生対象) ・「小さな親切」はがきキャンペーン (高校生対象)		

- 基本事業 ・「小さな親切」実行章の推せんと贈呈
- ・紙芝居による「心の教育」プロジェクト（小学校のみ）
 - ・あいさつ運動
 - ・日本列島クリーン大作戦
 - ・日本列島コスモス作戦
 - ・使用済み切手、プリペイドカード寄贈
 - ・その他（施設訪問、募金活動、他校との交流等）

<選択状況> 実行章 33 校、あいさつ運動 100 校、紙芝居 9 校
クリーン65 校、コスモス25 校、エコキャップ9 校

活動用具 ○全校に提供 /旗、八か条カードなど
○活動に応じて提供 /推薦箱・用紙、各種ポスター、ごみ袋、紙芝居舞台、コスモス種子など

活動報告 年度末に活動報告を送付してもらいホームページ等に掲載

4. 紙芝居による「心の教育」プロジェクト

～みんなで「しんせつさん」になろう～

1) 紙芝居制作

タイトル 「やさしい ころろ」(文・絵 有賀 忍/画家・相模女子大学教授)
対 象 幼児～小学校低学年
用 途 読み聞かせ用/紙芝居に登場する小石を用いた図工教室も開催可
制 作 数 500 部
発 送 数 350 部 (320ヶ所)

2) 講師による紙芝居を用いた道徳授業の開催 8 校

6 月 15 日(水) ～16 日 (木)

鹿児島県 南九州市立知覧小学校 講師：宮崎典子

鹿児島県 鹿児島市立田上小学校 講師：宮崎典子

7 月 8 日(金) 静岡県 湖西市立白須賀小学校 講師：宮崎典子

7 月 21 日(木) ～7 月 22 日(金)

静岡県 下田市立下田小学校 講師：佐藤仁美

静岡県 藤枝市立高洲南小学校 講師：佐藤仁美

12 月 8 日(火) 東京都 西東京市立向台小学校 講師：馬場喜久雄

12 月 14 日(木) 東京都 渋谷区立加計塚小学校 講師：馬場喜久雄

平成 24 年

2 月 14 日(火) 東京都 世田谷区立京西小学校 講師：佐藤仁美

講師 4 名

東日本地区担当：小森郁子、佐藤仁美/西日本地区担当：宮崎典子

道徳教育専門講師：馬場喜久雄

2) 紙芝居ボランティア養成講座

と き 平成 23 年 12 月 14 日 (水) 13:30~16:30

と ころ 東京都渋谷区立加計塚小学校

参加者 20 名 (都内小学校の教諭)

講 師 馬場喜久雄

講座内容

1. 子どもたちの心の育成における紙芝居の役割
2. 想像力をかきたてる紙芝居の活用の仕方
3. 紙芝居の使い方の実際
4. 実習

5. ことばの魔法プロジェクト

1) 第 27 回はがきキャンペーン “てのひら感謝状”

主 催 公益社団法人「小さな親切」運動本部

後 援 郵便事業(株) 読売新聞社

協 賛 (株)河出書房新社

テ ー マ あなたへありがとう

特別テーマ：東日本大震災やこれまでの災害での心あたたまる話や出会い

応募資格 子どもから大人まで

応募方法 ◇はがき de イイ話部門

◇心のほっとメール部門

運動本部の専用応募ページおよび電子メールで応募、800 字以内

締め切り 9 月 16 日 (金) 当日消印有効

応募総数 1,757 編 (前年度実績 2,349 編)

入賞者 35 名

大賞 日本郵便賞 1 名

「小さな親切」運動本部賞 1 名

読売新聞社賞 1 名

河出書房新社賞 1 名

入 賞 30 名

副 賞 クリスタル楯 (上位賞)

切手帳 (郵便事業(株)提供) 図書カード (読売新聞社提供)

書 籍 (河出書房新社(株)提供)

要項発表&入賞発表 読売新聞 7 月 23 日 (土)・11 月 10 日 (木)

表彰式 11 月 26 日 (土) 全国表彰式に 18 名出席

作製物 ◇応募要項 5,500 部

◇作品集『65 のありがとう』(作文・はがき合併号)

作製数 5,000 部

- 2) 一人暮らしのお年寄りへ「お便り便」
- 3) 記念日に大切な人へ Thanks Letter

6. 平成23年度「小さな親切」運動全国表彰式

主 催 公益社団法人「小さな親切」運動本部
 後 援 内閣府 文部科学省 NHK
 と き 平成23年11月26日(土) 13:00~15:00
 と ころ 東京・霞が関ビル35階 東海大学校友会館阿蘇の間
 参加者 約350名
 司 会 首藤奈知子(NHKアナウンサー)
 次 第 主催者あいさつ 代表 田中義具
 来賓あいさつ 内閣府大臣官房総務課 参事官 高山康次
 表 彰 内閣官房長官賞(5名)
 「小さな親切」運動大賞 / 岩手県本部
 「小さな親切」運動賞(5団体・5個人)
 事業表彰(1団体)
 感謝状(4団体・2名)
 第27回はがきキャンペーン“てのひら感謝状”
 第36回作文コンクール
 賛助出演 藤村女子中学・高等学校「児童文化部」
 閉会あいさつ 顧問 原禮之助

7. 「小さな親切」誌の刊行 <(財)日本宝くじ協会助成事業>

年4回発行(春号5月・夏号7月・秋号10月・新春号1月)
 発行部数 年間延べ144,000部

8. 地方組織の育成

- 1) 地方活動費の交付
10,414,000円(平成22年度会費収入の12%・6月交付)
- 2) 地方本部事務局長会議
平成24年2月24日(金) / 東京・ベルサール飯田橋駅前
参加者 40名
- 3) 地方組織各種会合への講師派遣、会議等への出席 16回
- 4) 地方本部代表表敬訪問 2回
- 5) 未組織県の組織化 広島県呉支部発足(平成23年7月20日)

9. 特別事業

- 1) 創立50周年記念準備
 - 「小さな親切」運動指針委員会
委員 5名
栗田 正 東京慈恵会医科大学准教授 / 脳科学分野
玉野和志 首都大学東京教授 / 地域社会学分野

松井 豊 筑波大学教授／援助行動学分野
堀江正浩 運動本部副代表・(株)ニヤクコーポレーション代表取締役会長
鈴木恒夫 運動本部理事・元文部科学大臣

第2回委員会 平成23年6月24日(金) 17:00～19:00

●会員システムの改良

みずほ銀行への会費入金一本化を促進

●ホームページ改良

平成23年10月 新ホームページ開設

使いやすく、検索されやすいコンテンツ作成

【公益目的事業 2】

1. 地域の輪・和・環プロジェクト

車椅子寄贈 105台(全国86ヶ所)

【公益目的事業 3】

1. 日本列島クリーン大作戦(30年目)

主 催 公益社団法人「小さな親切」運動本部

後 援 内閣府、文部科学省、農林水産省、国土交通省、経済産業省、
総務省、環境省、警察庁

協 賛 日本たばこ産業(株)、スチール缶リサイクル協会、コカ・コーラ協会、
日本石鹼洗剤工業会、(社)食品容器環境美化協会、
(財)クリーン・ジャパン・センター、(財)日本環境協会、東日本旅客鉄道(株)

スローガン 美しい日本、美しい心

ポスター作製 2,500部

ごみ袋 310,000部 <協力:日本たばこ産業(株)/3種類>

参加者 350,000名

各地域で、日本たばこ産業(株)との連携強化

●エコ・キャップ収集運動(3年目)

事業協賛 (株)ニヤクコーポレーション

地方組織の取り組み 7県本部・5支部・学校21校

収集数量:108,939.9kg ワクチン総数:54,468本

平成22年度発送費の還元 94,390円(6月)

福島県本部エコキャップ伝達式等に参加 1回

感謝状作成 300部

新ポスター作製 1,000部

2. 日本列島コスモス作戦(23回目) <協力:(株)サカタのタネ>

種子袋の斡旋 130,510袋(15県本部・41支部)

【公益目的事業 4】

1. 心の国際交流

1) シンガポール親切運動事務局が運動本部表敬訪問

訪問日 平成23年10月4日(火)

訪問者 1名(シンガポール親切運動事務局員)

【一般事業】

1. 使用済み切手・プリペイドカード・未使用はがき寄贈

寄贈先 / (財)ジョイセフ、(社)日本キリスト教医療協力会、(財)緑の地球防衛基金

寄贈回数 13回

年間協力者(件) / 地方組織…9、会員企業・団体…55、個人…24

協力者氏名をホームページに掲載

【その他】

1. 総会・役員会

1) 第1回社員総会 平成23年6月13日(月) / 東京・ベルサール飯田橋駅前

2) 理事会 5回

3) 理事懇談会 1回

4) 50周年記念事業委員会 1回

5) 定款改正委員会 1回

2. 各種パンフレット、ポスター等の作製

1) 「小さな親切」運動パンフレット(基本パンフ)、3つ折パンフレット、
八か条ポスター

2) ボールペン / 4種類・4,000本 鉛筆 / 400ダース

3) 会員用 ○個人会員証・法人会員楯

○個人会員バッジ、子供団体バッジ、大人団体会員バッジ

3. 「小さな親切」運動本部特任推進委員の委嘱

委嘱者 13名 / 委嘱状と名刺を贈呈

特任推進からの実行章の推薦・伝達が増加

4. 東日本大震災への義援金募集と贈呈

東日本大震災へ義援金贈呈 3,000,000円

6月24日(金) 福島県本部より県災害対策本部へ

7月20日(水) 岩手県本部より県災害義援金募集委員会へ

8月29日(月) 宮城県本部より県災害対策本部へ

《特別支援活動》

「君と私と、空の下プロジェクト」

1) 応援花びらメッセージの贈呈

- 募集期間 4月～7月末
- 花びらメッセージ総数 7,561枚
- 参加者 12組織・32会員・81小学校・18中学校・7高校など
- 模造紙に木を描き応援メッセージを添付し花を咲かす 模造紙61枚
協力：藤村女子中学・高等学校「児童文化部」
- 贈呈先 14ヶ所
(吉里吉里小学校・堤乳幼児保育園・大槌保育園・鶴住居保育園
釜石神愛幼児学園・釜石保育園・岩手銀行支店、東邦銀行支店)

2) 子どもたちのサンタさんになろう

- 募集期間 10月～11月末
- プレゼント数 1,700個
- 参加者 16団体・15個人
- 贈呈先 17ヶ所
12月18日(土) 宮城県 石巻市開成団地
19日(月) 岩手県 鶴住居保育園 他
21日(水) 福島県 福島市立佐原小学校 他

3) 声優さんによる紙芝居上演

- 8月29日(月) 岩手県大槌町立吉里吉里小学校
- 12月21日(水) 福島県福島市立佐原小学校

4) 藤村女子中学・高等学校「児童文化部」によるハンドベル演奏慰問

- 平成24年3月22日(木)
宮城県石巻市 河北警察署・イトーヨーカドー石巻あけぼの店
エスタ(石巻市役所内)・かめ七呉服店
- 3月23日(金)
女川町 心身障害者授産所うみねこ園